

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成2024」活動報告書

活動名	こども食堂
団体名	みんなの実家 モグモグキッチン
この活動で取り組んだ地域の課題や背景（※）	<p>高齢者の方が多いため、一人暮らしの高齢者の方からも問い合わせがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車がないと移動が難しく子どもだけでは、来られないため、活動内容が限られてしまっています。 ・少しずつ改善されていますが、子ども食堂そのものの理解が一部で得られてない背景があります。
この活動の目的（※）	経済的に恵まれない等家庭に課題を抱える子ども達に対し、出来る限りの栄養バランスを考え愛情のこもった食事作り、食料支援、居場所づくりを目的としています。
活動の対象（※）	子育て世帯、ひとり親世帯、一人暮らしの高齢者など、
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・常時、大田コミュニティセンターに回収ボックスを設置し、地域の方々にご協力いただき、ご家庭に眠っている食品を寄付してもらおうフードドライブを開催。 ・フードドライブで集まった食材をフードパントリー、ならびに子ども食堂の食材として活用する活動。 ・大田コミュニティセンターにて、子ども食堂（テイクアウト）、宅食配を開催する活動（月に3回程度）。 ・寺子屋へお弁当配達する活動（7月～2月） ・子ども達の未来のために、調理の際に出るゴミ分別を徹底。生ごみは当団体のスタッフの畑の肥料として活用し、その畑でとれた野菜を子ども食堂の食材に活用し、また、子ども達にジャガイモ掘りを体験してもらおう活動。 ・子ども達への支援を持続可能なものにする為、健康増進係を設け、市民ウォーキング等への参加呼びかけを行い、スタッフの健康を大切にしている活動。
活動実施後の成果	こども食堂そのものの理解が得られるというより、利用者にとって心理的ハードルが下がった、行きやすい場所、居たい場所になったと感じます。こども食堂への理解も、もちろん大切ですが、現在の利用者の方々の方が気軽に来られる場所に少し近づいてきたと実感できる事が大変うれしく思います。
今後の展望や新たに増えてきた地域課題	<p>とにかくマンパワーが足りない事です。現在は調理の仕方を変えるなどで、対応可能な部分もありますが、今後ボランティアは減少の一途をたどる事は間違いなく、無償のボランティアでは、成り立たない時代が来ています。</p> <p>今後は有償ボランティアも視野に入れての活動を考えていかなければならない節目が来ていると感じています。</p>

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

子ども食堂応援定期貯金預金者への一言 (※)	いつも温かい応援をありがとうございます。皆様ひとりひとりの温かいご支援が本当に現場の私たち、利用者の方々の大きな力となっています。本当にありがとうございます。どうぞこれからもご支援よろしく願いいたします。
自己評価 (いずれかに○を記入)	A. 目標を超える成果を得ることができた <input checked="" type="radio"/> B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他 ()
自己評価で C を記入された場合、その理由	()

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で2ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。